
令和2年度（2020年度）事業報告書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

学校法人 共済学院

令和2年度（2020年度）

事業報告書

目次

I 法人の概要

1. 建学の精神	1
2. 学校法人の沿革	1
3. 設置する学校・学部・学科等	2
4. 学校・学部・学科等の学生数の状況	2
5. 役員の概要	3
6. 評議員の概要	3
7. 教職員の概要	4

II 事業の概要

1. 事業の概要

(1) はじめに	6
(2) 教育方針	6
(3) 学生の受入れ	6
(4) 学生支援	6
(5) FD・SD	7
(6) 大学校務	7
(7) 入学試験	8
(8) オープンキャンパス	10
(9) 地域貢献活動	10

2. 主な事業の目的・計画及びその他進捗状況

(1) 教育活動	10
(2) 研究活動	10
(3) 施設等の状況	11
(4) 学生募集状況	11
(5) 学生の進路状況	12
(6) 幸手市との関係	13
(7) 学院祭	13
(8) 認証評価	13
(9) 看護学実習	13
(10) 公衆衛生看護学実習	14
(11) 理学療法臨床実習	15

学校法人共済学院 令和2年度事業報告書

I 法人の概要

1. 建学の精神（建学の精神と理念）

我が国は、第2次世界大戦の敗戦により荒廃した社会の中で文字どおりゼロからスタートしました。そして戦後、国民のたゆまぬ努力により、科学技術の高度な進展とともに工業技術の発展を遂げ、世界有数の経済大国・技術大国に成長しましたが、人間性の高揚においては未だしの感あり、今後は文化大国を目指して、前進致さねばなりません。一方、乳幼児死亡率の低下と公衆衛生の向上ならびに医学の進歩により国民の寿命は飛躍的に延び、いわゆる超高齢社会を迎えており、今後ますます高齢者が増加すると予測されています。

このような超高齢社会にあって、すべての国民が豊かな老後を過ごすためには、国民一人ひとりが心身ともに健康で生甲斐をもって日々充実した生活を送ることが必須であります。このために医学の分野のみならず、保健医療福祉の分野の充実・拡充が急務となっております。

今日の医療現場では、医師のみならず看護師、臨床心理技術者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の医療専門スタッフがチームを組み、一体的にケアに当たるいわゆるチーム医療の必要性が叫ばれており、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっております。

このような社会の要請に鑑み、私たちは、保健医療分野の充実を図るため「日本保健医療大学」を設立し、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚と、共済主義、又は共済主義精神（共存共栄の精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の各種の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献しようとするものであります。

2. 学校法人の沿革

- (1) 法人設立年月：平成21年10月 学校法人共済学園設立
平成28年1月 学校法人共済学院に法人名を改称
- (2) 学校設置年月等：平成22年4月 日本保健医療大学（保健医療学部看護学科）開学
平成29年4月 日本保健医療大学保健医療学部に理学療法学科 開設

3. 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開学年月	学部・学科等	摘 要
日本保健医療大学	平成 22 年 4 月	保健医療学部 看護学科 理学療法学科	平成 29 年 4 月開設

4. 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和 3 年 3 月 31 日現在) (単位：人)

学 校 名		入学定員	収容定員 数	現員数	摘 要
日本保健医療大学	保健医療学部 看護学科	100	400	418	
	保健医療学部 理学療法学科	80	320	173	
	保健医療学部	180	720	591	

日本保健医療大学 学生数内訳 (令和 3 年 3 月 31 日現在)

区 分		男	女	計
1 年次	看護学科	15	86	101
	理学療法学科	64	8	72
	保健医療学部 計	79	94	173
2 年次	看護学科	26	78	104
	理学療法学科	26	14	40
	保健医療学部 計	52	92	144
3 年次	看護学科	18	85	103
	理学療法学科	26	13	39
	保健医療学部 計	44	98	142
4 年次	看護学科	25	85	110
	理学療法学科	20	2	22
	保健医療学部 計	45	87	132
合 計	看護学科	84	334	418
	理学療法学科	136	37	173
	保健医療学部 計	220	371	591

5、役員概要

定員数 理事 10人～12人（現員11人）、監事2人

（令和3年3月31日現在）

区分	選任条項	氏名
理事長	2号	作田 暢子
理事	1号	名取 道也
理事	2号	金井 ヒロ
理事	2号	宮川 章義
理事	3号	村井 仁昭
理事	3号	松井 倫子
理事	3号	金海 博之
理事	3号	石井 有二
理事	3号	西須 祐三
理事	3号	下村 文彦
理事	3号	林 勝枝
監事	7号	金森 浩之
監事	7号	太田 幹夫

6. 評議員概要

定員数 21人～25人（現員23人）

（令和3年3月31日現在）

氏名	氏名
作田 暢子	名取 道也
金井 ヒロ	宮川 章義
村井 仁昭	松井 倫子
金海 博之	石井 有二
西須 祐三	下村 文彦
林 勝枝	川村 勇造
杉原 孝俊	清流 忠見
澁井 義徳	生田 英輔
早崎 知幸	岡本 茂典
熊坂 隆行	金海 哲也
角 憲明	金曾 好信
重石 真宏	

7. 教職員の概要

(令和3年3月31日現在)

区 分		学校法人	日本保健医療大学	計
教 員	本務	0	46	46
	兼務	0	65	65
職 員	本務	0	16	16
	兼務	0	14	14

日本保健医療大学 分野別・職位別・男女別 専任教員数 (令和3年3月31日現在)

区 分		共通教育	看護学科	理学療法学科	計
学長・教授	男	2	1	3	6
	女	3	3	0	6
	計	5	4	3	12
特任教授	男	1	0	0	1
	女	1	3	1	5
	計	2	3	1	6
准教授	男	1	0	1	2
	女	0	2	0	2
	計	1	2	1	4
講 師	男	1	2	2	5
	女	0	5	0	5
	計	1	7	2	10
助 教	男	0	0	2	2
	女	0	6	0	6
	計	0	6	2	8
助 手	男	0	1	2	3
	女	0	3	0	3
	計	0	4	2	6
合 計	男	5	4	10	19
	女	4	22	1	27
	計	9	26	11	46

【注】「共通教育」は、英語、基礎医学等の科目を担当する教員、「看護学科」は看護学を専門分野とする教員、「理学療法学科」は理学療法学を専門分野とする教員。

区 分	専任			非常勤			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務局長【注1】	1	0	1	0	0	0	1	0	1
総務課（幸手北キャンパス）	3	2	5	0	3	3	3	5	8
総務課（幸手南キャンパス） 【注2】	1	0	1	0	0	0	1	0	1
教務課（幸手北キャンパス）	5	2	7	1	7	8	6	9	15
教務課（幸手南キャンパス）	1	0	1	0	2	2	1	2	3
図書館【注3】	0	1	1	0	1	1	0	2	2
計	11	5	16	1	13	14	12	18	30

【注1】事務局長は幸手南キャンパスに常駐。

【注2】総務課（南キャンパス）は、上記以外に派遣職員1名。

II 事業の概要

1. 事業の概要

(1) はじめに

令和 2 年度においては、日本保健医療大学保健医療学部看護学科（平成 22 年 4 月開設）は、11 年目を迎え、平成 29 年度に新たに設置した理学療法学科は 4 年目（完成年度）を迎えた。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症対策に終始した 1 年であった。講義形式の授業をオンラインでの配信授業、演習形式の授業は分散登校とし、受け入れ不可の病院での臨地実習については学内実習に振り替えた。また、学生募集においても従来型のオープンキャンパスから人数を絞っての個別見学方式に切り替えた。その他、新型コロナウイルス感染症対策支援金として奨学金の給付を実施した。そして、そのような中、規模を縮小した形ではあるが、令和元年度は実施できなかった学位授与式（卒業式）を挙行することができ、特に、理学療法学科においては初めての卒業生を輩出した。

(2) 教育方針

学校教育法施行規則の改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）において、すべての大学等において、3 つの方針①入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）③卒業の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマポリシー）を一貫性あるものとして策定し、公表することが義務付けられた。

本学においては、この 3 つの方針について、人材育成目標や教育課程との一貫性及び整合性を検証し、本学ホームページ及び「学生便覧」等で公表した。あわせて、3 つの方針の実質化に向けて、基礎教育・専門教育においてさらなる学修効果を上げるために、教務委員会、カリキュラム部会、FD 委員会が中心となって授業方法や評価方法の整理、カリキュラムの見直しを行っている。

(3) 学生の受入れ

令和 2 年 4 月に日本保健医療大学保健医療学部看護学科では第 11 回生となる 103 名の学生を、理学療法学科では第 4 回生となる 78 名の合計 181 名の学生が入学した。

(4) 学生支援

学生支援の中心的な役割の一つに学生相談が位置づけられ、この学生相談は、学生一人一人がその学びと育ちのプロセスにおいてニーズを感じた時点で、個別相談を中心とする丁寧なコミュニケーションを通じて「全人的に」育てていく機能を有するものである。

学生には、入学から卒業に至るサイクルの中で、学年進行に伴って、「学業」「進路」「学生生活」「対人関係」等、個別ニーズがある。

本学では、こうした個別のニーズに対して、学生へのきめ細かい、親身な教育・指導の一環として、看護学科においては各学年に 5 名から 6 名の担任、各学年に 1 名の学習相談担当教員を配置し、そしてオフィスアワーを設けて学生に個別に対応した。理学療法学科では、アドバイザー制を設けて面談や個別フォローをきめ細かく行った

また、学生の心理的・教育的な援助・支援活動の一環として、平成 30 年 12 月に設置した学生相談室には看護師を配置し、来室した学生からの相談に対して、個別面接を中心とした援助活動を展開した。

就職支援では、看護学科では12月に就職ガイダンスをオンラインで開催し、就職活動の心得、注意点を確認したほか、外部講師による就職支援講演を実施し、エントリーシート、履歴書の書き方、個人面接の対策などを修得させた。また、学生一人ひとりの適性を把握した上での就職支援を学年担任と学生委員会が協同して行った。

また理学療法学科では就職支援室を設置し、求人情報の提供、キャリア相談、キャリア教育として低学年より就職について理解、活動できるようにした。

(5) FD・SD（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

建学の精神に基づき、本学の教育理念及び教育目標に沿って行う授業の改善に資するとともに、教員個々の教育研究能力、資質を高めることを目的として、FD委員会主催により3月17日に「より良い遠隔授業に向けて、classroom活用法を学ぼう」として講義で活用しているGooglemeetを使って遠隔での研修会を開催した。また、FDネットワークつばさに引き続き加盟し、研修会に教員が参加し、その内容を学生の就職活動支援に役立てることができた。今後も、計画に基づいて教育課程の実施を着実にを行うとともに、一層の教育効果の向上を目指して教育方法等の工夫に努めていく。

(6) 大学校務

令和2年4月1日(水)	第11回入学式・保護者説明会(中止)
令和2年4月2日(木)～6日(月)	新入生・在学生ガイダンス(中止)・健康診断(9/23に延期)
令和2年4月7日(火)	前期授業開始 5/11(月)に延期
令和2年4月13日(月)～5月24日(日)	総合臨床実習Ⅰ〔理学療法学科4年生〕
令和2年5月～7月	公衆衛生看護学実習〔看護学科4年生〕
令和2年6月1日(月)～7月12日(日)	総合臨床実習Ⅱ〔理学療法学科4年生〕
令和2年7月～9月	課題別実習〔看護学科4年生〕
令和2年7月6日(月)～17日(金)	基礎看護学実習Ⅰ〔看護学科1年生〕
令和2年8月24日(月)～9月18日(金)	基礎看護学実習Ⅱ〔看護学科2年生〕
令和2年8月～令和3年3月	各領域実習〔看護学科3年生〕 小児看護学実習、母性看護学実習、成人看護学実習、老年看護学実習、精神看護学実習、在宅看護論実習
令和2年8月17日(月)～9月22日(火)	夏期休暇
令和2年9月28日(月)～10月25日(日)	評価実習〔理学療法学科3年生〕(遠隔授業に変更)
令和2年9月24日(木)～	後期授業開始
令和2年12月30日(水)～1月3日(日)	冬期休暇
令和3年1月8日(金)	授業再開
令和3年2月15日(月)～2月28日(日)	検査・測定実習〔理学療法学科2年生〕(遠隔授業に変更)
令和3年2月8日(月)～3月31日(水)	春期休暇
令和3年3月12日(金)	学位授与式

(7) 入学試験

総合型選抜・学校推薦型選抜 試験日

令和2年9月27日(日)	第1回総合型選抜(自己推薦型)
令和2年10月18日(日)	第2回総合型選抜(自己推薦型)、 第1回総合型選抜(社会人特別 他)
令和2年11月8日(日)	第3回総合型選抜(自己推薦型)、 第2回総合型選抜(社会人特別 他)、 第1回学校推薦型選抜
令和2年11月29日(日)	第4回総合型選抜(自己推薦型)、 第3回総合型選抜(社会人特別 他)、 第2回学校推薦型選抜
令和2年12月20日(日)	第5回総合型選抜(自己推薦型)、 第4回総合型選抜(社会人特別 他)、 第3回学校推薦型選抜
令和3年1月14日(月・祝)	第6回総合型選抜(自己推薦型)、 第5回総合型選抜(社会人特別 他)、 第4回学校推薦型選抜
令和3年2月14日(日)	第7回総合型選抜(自己推薦型)
令和3年3月7日(日)	第8回総合型選抜(自己推薦型)
令和3年3月21日(日)	第9回総合型選抜(自己推薦型)

一般選抜(1科目選択型) 試験日

令和3年2月1日(月)	第1回一般選抜(1科目選択型)
令和3年2月2日(火)	第2回一般選抜(1科目選択型)
令和3年2月14日(日)	第3回一般選抜(1科目選択型)
令和3年3月7日(日)	第4回一般選抜(1科目選択型)
令和3年3月21日(日)	第5回一般選抜(1科目選択型)

一般選抜(大学入学共通テスト利用型) 出願期間

令和3年1月7日(木)～2月10日(水)	第1回一般選抜(大学入学共通テスト利用型)
令和3年2月12日(金)～3月3日(水)	第2回一般選抜(大学入学共通テスト利用型)
令和3年3月4日(木)～3月17日(水)	第3回一般選抜(大学入学共通テスト利用型)

令和3年度入学試験結果

保健医療学部看護学科

令和3年3月31日現在

区 分		志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合型 選 抜	自己推薦型	4	13	17	4	13	17	4	13	17	3	11	14
	社会人特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	帰国生徒特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	留学生特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 校 推薦型 選 抜	指定校	13	29	42	13	29	42	13	29	42	13	29	42
	公募制	2	3	5	2	3	5	0	3	3	0	2	2
一 般 選 抜	1科目選択型	19	64	83	17	60	77	14	54	68	6	8	14
	大学入学共通 テスト利用型	5	20	5	5	20	5	5	19	24	1	0	1
計		43	129	172	41	125	166	36	118	154	23	50	73

保健医療学部理学療法学科

令和3年3月31日現在

区 分		志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合型 選 抜	自己推薦型	10	0	10	9	0	9	7	0	7	7	0	7
	社会人特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	帰国生徒特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	留学生特別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 校 推薦型 選 抜	指定校	30	10	40	30	10	40	30	10	40	30	10	40
	公募制	6	0	6	5	0	5	2	0	2	2	0	2
一 般 選 抜	1科目選択型	29	13	42	27	12	39	20	11	31	6	3	9
	大学入学共通 テスト利用型	14	10	24	14	10	24	13	9	22	0	0	0
計		89	33	122	85	32	117	72	30	102	45	13	58

(8) オープンキャンパス（令和3年度入学生対象）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オープンキャンパスは実施しなかったが、代替措置として個別での見学を受験生の夏休み期間とそれ以降の平日に事前予約制で行った。

(9) 地域貢献活動

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公開講座は開講しなかった。今後はオンラインを含めた実施の可能性を検討していく。

2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 教育活動

日本保健医療大学保健医療学部は、令和3年3月12日に第8回学位授与式を挙行し、看護学科学学生94人、理学療法学科学学生16人に学位を授与した。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により教育活動は例年になく展開となった。前期は原則としてオンラインによる遠隔形式での授業とし、後期は一部演習科目に限り対面形式の授業とした。

看護学科においては2022年度からの指定規則改正に伴い、建学の精神に基づくカリキュラムを実施する必要から、改正カリキュラム部会を中心として、アドミッションポリシーとの関係、看護学教育モデルコアカリキュラム等を視野に入れて、授業科目内容の検討を進めてきた。基礎科目・専門基礎科目と専門科目との連携が整理されつつある。

教務委員会及びFD委員会を中心に、学習成果の測定による教育の質保障のPDCAサイクルの充実に努めてきた。

臨地実習については、令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルスの感染拡大により、多数の実習施設から実習生受け入れが中止され、やむなく学内での実習に代替されたが、実習担当教員による工夫により質を落とすことなく実習指導を進めることができた。

学生支援を充実させるため、低学年から予復習の時間を確保し学習や自分自身に向き合わせるよう学年担任、アドバイザー教員が支援し、また、3、4年次生には看護師・保健師・理学療法士国家試験に向けて自己学習意欲を高める授業の工夫や主体的学修の習慣化に向けた取り組みを継続し、特に4年次に対しては正課外の国家試験対策を少人数で実施してきた。

看護師、保健師、理学療法士国家試験の合格率は十分とは言えないため、この合格率を上げるために、入学時から、どのような看護師・保健師・理学療法士を目指すのかをイメージさせ、そして国家試験に対する意識を学生に持たせ、学生一人ひとりの理解度に注視したきめ細かなフォローアップの指導体制をつくりあげていくこととする。

(2) 研究活動

研究促進委員会を中心に、科研費や研究助成の公募について情報提供を行い、本学教員からの応募を奨励した。また、公正な研究活動の促進と公的研究費の適正管理のため研究倫理教育を実施した。

競争的研究費の間接経費について使用方針を作成した。同方針に基づき、教員の研究環境の改善や大学全体の研究機能の向上のため、計画的かつ適正に間接経費を執行した。

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積	摘要
埼玉県幸手市幸手 1961-2 (幸手北キャンパス)	校地	20,309 m ²	幸手市から無償貸与、保健医療学部看護学科で利用
	校舎等	6,268 m ²	幸手市から無償譲渡、保健医療学部看護学科で利用
埼玉県幸手市平須賀 2-555 (幸手南キャンパス)	校地	48,999 m ²	埼玉県から購入、保健医療学部理学療法学科で利用
	校舎等	11,587 m ²	埼玉県から購入、保健医療学部理学療法学科で利用

② 施設設備の整備状況

- ・(全学) 遠隔授業対応のための授業管理ツールを導入 (G Suite Enterprise for Education)
- ・(全学) 遠隔授業でのワープロソフト利用のため Microsoft Office 365 A1 を導入。
- ・(全学) 新型コロナウイルス感染症対策として、サーモカメラ 4 台導入。
- ・(北キャンパス) 事務職員用 PC 4 台導入
- ・(南キャンパス) 庇爆裂補修工事
- ・(南キャンパス) 公用車を 1 台購入 (入れ替え)

(4) 学生募集状況

令和 3 (2021) 年度入学者は看護学科が定員100名に対して73名、理学療法学科は定員80名に対して58名という結果となり、定員充足率は看護学科が73.0%、理学療法学科が72.5%と大幅に100%を下回る結果となった。

これは、新型コロナ禍によりオープンキャンパスを開催できず、他大学も検討する受験生に本学の良さをアピールする機会が少なかったことが大きな原因であり、令和 4 (2022) 年度入学者の確保については、来校イベントの充実と本学の良い情報を発信する大学PRの積極化に取り組んでいく。

(5) 学生の進路状況

令和2年度卒業生 進路(内定) 調査結果

【看護学科】

R3.3.31現在

	病院・施設名(看護学科)	所在地	人数
1	愛和病院	埼玉県	1
2	イムス富士見総合病院	埼玉県	1
3	春日部市役所	埼玉県	1
4	春日部中央総合病院	埼玉県	4
5	川口さくら病院	埼玉県	1
6	圏央所沢病院	埼玉県	2
7	越谷市立病院	埼玉県	1
8	越谷誠和病院	埼玉県	1
9	済生会栗橋病院	埼玉県	3
10	埼玉県立病院小児医療センター	埼玉県	1
11	さいたま市立病院	埼玉県	1
12	埼玉セントラル病院	埼玉県	1
13	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	1
14	三愛会総合病院	埼玉県	1
15	新久喜総合病院	埼玉県	2
16	TMGあさか医療センター	埼玉県	1
17	獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉県	5
18	新座志木中央総合病院	埼玉県	2
19	羽生総合病院	埼玉県	2
20	東埼玉総合病院	埼玉県	2
21	丸山記念総合病院	埼玉県	1
22	みさと健和病院	埼玉県	3
23	三郷中央総合病院	埼玉県	2
24	武蔵野病院	埼玉県	1
25	八潮中央総合病院	埼玉県	1
26	赤羽病院	東京都	1
27	板橋中央総合病院	東京都	2
28	イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院	東京都	1
29	佼成病院	東京都	1
30	順天堂大学医学部附属順天堂医院	東京都	2
31	順天堂大学東京江東高齢者医療センター	東京都	1
32	聖路加国際病院	東京都	1
33	総合東京病院	東京都	1
34	多摩北部医療センター	東京都	1
35	東京女子医科大学病院	東京都	1
36	東京都福祉保健局	東京都	1
37	虎の門病院	東京都	1
38	成増厚生病院	東京都	2
39	明理会中央総合病院	東京都	1
40	けいゆう病院	神奈川県	1
41	相模原協同病院	神奈川県	1
42	日本医科大学武蔵小杉病院	神奈川県	1
43	箱根病院	神奈川県	1
44	横浜市立大学附属市民総合医療センター	神奈川県	1

	病院・施設名(看護学科)	所在地	人数
45	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター	神奈川県	1
46	順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県	1
47	新松戸中央総合病院	千葉県	2
48	中山病院	千葉県	1
49	佐野厚生総合病院	栃木県	1
50	芳賀赤十字病院	栃木県	1
51	茨城西南医療センター病院	茨城県	1
52	長野中央病院	長野県	1
53	長野松代総合病院	長野県	1
54	医療法人久盛会	秋田県	1
55	桑名病院	新潟県	1
56	京都桂病院	京都府	1
57	北九州市役所	福岡県	1
合 計			78

【理学療法学科】

	病院・施設名(理学療法学科)	所在地	人数
1	済生会栗橋病院	埼玉県	1
2	さいたま岩槻病院	埼玉県	1
3	戸田中央医科グループ	埼玉県	2
4	蓮田病院	埼玉県	1
5	羽生総合病院	埼玉県	1
6	堀中病院	埼玉県	1
7	黒木整形外科内科クリニック	東京都	1
8	よこすか浦賀病院	神奈川県	1
9	小山整形外科内科	栃木県	1
合 計			10

○施設(9名)が公務員として勤務

□就職・進路先内訳(都道府県別)

都道府県名	人数	割合
埼玉県	49	44.5%
東京都	18	16.4%
千葉県	4	3.6%
神奈川県	7	6.4%
栃木県	3	2.7%
茨城県	1	0.9%
長野県	2	1.8%
秋田県	1	0.9%
新潟県	1	0.9%
京都府	1	0.9%
福岡県	1	0.9%
未定	16	14.5%
未回答	6	5.5%
合計	110	100.0%

74.5%

(6) 幸手市との関係

平成 22 年 4 月に保健医療学部看護学科を開設し11 年目となる。令和 2 年度は下記の取組を行い、幸手市との関係は良好な状態である。

- ①令和 2 年 11 月 9 日 (月)、和栗副市長が、大学施設を見学した。
 - ②令和 2 年 12 月 4 日 (金)、幸手市役所市長応接室に於いて、幸手市と日本保健医療大学の間で、包括連携協定書の調印式が執り行われた。
 - ③令和 3 年 3 月 12 日 (金)、令和 2 年度卒業式をアスカル幸手、さくらホールで行った。
 - ④正田泰基講師が、教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書に知見を提言した。
- その他、多くの委員等を委嘱され参画している。

(7) 学院祭

コロナ禍の中、学位授与式や入学式が取りやめとなり、授業についてもリモート授業が主となった。学生を登校させることが感染リスクを高めることになると判断し、学院祭を中止した。

(8) 認証評価

日本高等教育評価機構の定める評価基準に則って、自主的な自己点検評価を実施した。評価結果に基づいて自己点検評価書を作成し、大学HPで公開すると共に教職員の間でその内容を共有した。

(9) 看護学実習

看護学実習の目的は、学生が学内で学んだ専門的知識・技術・態度を実際の場面に応用し、看護の対象を全人的にとらえ、科学的根拠に基づいた看護実践ができる能力を養うことである。

しかし、今年度における看護学科の教育は、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策を優先せざるを得ないことから、様々な対応を迫られた。特に、臨地実習を受け入れる病院・施設の診療科や対象者の特長等から代替教育の実施を余儀なくされた。本学では、学生が段階的な学習ができるよう看護学実習の位置づけを4つに区分している。

第一段階は基礎看護学実習Ⅰである。令和2年度は1年次前期に「看護学科4年間の学習を動機づける」目的で、全ての実習を学内実習へ変更して令和3年2月1日(月)から令和3年2月5日(金)に実施した。当初、7月6日(月)から7月17日(金)を予定していたが、コロナ禍における感染拡大予防のため実施時期を変更し学内実習とした。5名1グループに編成し時間差で登校させた。フェイスシールドの着用、手指消毒、教室内消毒、室内換気を徹底し、教室内座席指定など密を回避する工夫をした上で対面授業を実施し、また、臨地に赴くことを鑑み学生はリクルートスーツ着用のこととした。患者様とのコミュニケーションを理解させること、実習記録を書くことに注視した指導を強化し学生の実習目標は到達できた。

第二段階は基礎看護学実習Ⅱである。令和2年度は2年次前期に「看護実践の中で対象を理解し、看護技術の適用や人間関係、看護過程を用いた看護の展開の仕方を学ぶ」目的で令和2年8月24日(月)から令和2年9月28日(金)に実施した。実習病院は、3施設で実施した。実習直前に実習施設と対象患者様への感染に対する安寧を考慮し、全員PCR検査を実施して実習体制を万全

に整え臨地に赴いた。内容は 2 週間患者様を受け持ち、患者様との信頼関係を保つことや患者様が何を必要としているか、疾患の理解、看護の必要性等観察力を高め、患者様のニーズの理解ができるように学習を高めて行くことであった。しかし、実習開始 5 日目の午前中に、学生 1 名が発熱、嘔吐等の症状を呈しコロナ感染症が疑われるとのことで、基礎看護学実習Ⅱの実習全てを中止とした。残り 5 日間は学内実習として、1 週目の臨地での体験を振り返り、主に看護過程の展開を行い、実習目標を到達することができた。

第三段階は領域別実習で全 6 領域実習である。令和 2 年度は 3 年次後期に「人の発達の特徴を理解し、健康障害に対する看護のケアを実践していく学習」目的で、令和 2 年 8 月 31 日(月)から令和 3 年 3 月 12 日(金)に実施した。全ての臨地実習を学内実習に変更した領域は、小児看護学、母性看護学、精神看護学であった。何れの領域も各実習施設の診療対象者特性への配慮を鑑み、臨地との入念な調整の結果である。PCR検査実施後、臨地での実習が実施できた領域は、成人看護学実習：慢性期・急性期、(3 施設)、老年看護学実習(16 施設)、在宅看護論実習(2 施設)であるが、全領域が実習半ばで学内実習へ変更せざるを得なくなった。変更に当たっては、各領域が学生への教育格差が生じないよう綿密な計画立案を施し代替教育の充実に努め実施した。学生にとってはコロナ禍における半年間という長期間の臨地実習であったことであつて体験したことのない様々な経験により自身の人間的成長を促し、既習の理論・知識の活用の仕方を学習する良い機会となった。

第四段階は 4 年次前期「課題別実習」である。これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、看護専門職としての自己の課題や卒業時までには明確にするとともに、倫理的思考を用いた表現力を養うことを目的に令和 2 年 7 月から 10 月に実施した。臨地実習を実施した領域は、成人看護学(慢性期・急性期)、老年看護学、在宅看護論であった。基礎看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学領域は学内実習であった。今年度は臨地に赴くことは難しかったが、学内に於いて、忍耐力、相手を尊重することの大切さを学ぶことができた。また、知識の統合と実践への応用は机上での調べる、書くというアカデミックスキルや指導教員にアドバイスを求める学習方法を通して到達できた。

(10) 公衆衛生看護学実習

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い実習受け入れ施設と協議の結果、保健師コースを選択した学生 24 名に対して、計画していた 4 年次前期 5 単位 225 時間全ての実習を学内実習とした。実施期間は、令和 2 年 6 月 1 日(月)から令和 2 年 7 月 24 日(金)で、実施内容は、保健所の概況、地域診断、健康教育課題であった。学生個々は、予め担当教員によって割り振りされた担当保健所の概況をまとめること、地域診断を行い、グループで発表の媒体を作成する、実習最終日に地域のニーズや課題について発表する課題に取り組んだ。更に、係る市町村の地域診断を実施し、地域診断から地域のニーズを捉え、地域住民を対象とした健康教育を計画してその学習成果を個別発表した。

本年度の実習に於いては、現場の見聞から学修することはできなかったものの、個別学習を拡大し地域の様々な専門職や一般の人々への保健師としての支援について考え、今後、起こっている健康課題に取り組むべき方法を探求することができた。

(1 1) 理学療法臨床実習

臨床実習は理学療法士の養成課程において大きな時間数を占めるのみならず、学内で修学した知識と技術及び態度を臨床現場における体験により統合する過程となる重要な科目と位置づけられる。

教育課程における臨床実習の目的は、「臨床実習指導者の指導・監督の下で基本的な理学療法に関する検査・測定の実施、評価、理学療法計画・目標の設定、理学療法の流れを実際に行い、さらに自主的にその一部を行えるようになること」である。

また、臨床実習は、社会人及び医療人としての礼儀や態度、資質を養うための目的意識、プロフェSSIONALとしての姿勢、知識・技術の確認、記録、守秘義務等の法と規則の遵守、Evidence-Based Practice の原則、論理的思考、的確な報告等を含む統合教育であると位置づけている。

このような位置づけにある臨床実習では、将来、学生が医療、保健、福祉の分野において健康の維持及び増進に貢献し、リハビリテーションならびに医学の発展に寄与することができるよう卒業時に下記の項目を達成することを目標とする。

- ① 将来、理学療法のいずれの領域に進む場合でも、必要になる基礎的な知識と技能を修得する。
- ② 生涯にわたって発展させるべき、医療、保健、福祉の専門職業人に必要な基本的態度および習慣を身につける。
- ③ 医学的諸問題を理学療法との関連において正しくとらえ、自然科学的、社会科学的小および心理学的方法を統合して解決するための基本的能力を修得する。
- ④ 知識・技能・態度を自ら評価し、かつ自発的学習と修練によってそれらを向上し続ける習慣を身につける。

以上のような目標を達成するためには、2 年後期 2 週間 の 1「検査・測定実習」、3 年後期 4 週間 の「評価実習」、4 年前期 12 週間 (6 週間×2 回) の「総合臨床実習」を配置し、4 年間の一貫した流れの中で段階的かつ体系的に知識・技能・態度の全ての側面の修得が容易なように配慮している。

令和 2 年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大防止、それに伴う厚生労働省からの「臨床実習の弾力的運用」に関する指導、受け入れ臨床実習施設 (医療機関) の状況等から総合的に判断し、総合臨床実習 I および II (各 6 週間、4 年生前期)、評価実習 (4 週間、3 年生後期)、そして検査・測定実習 (2 週間、2 年生後期) の科目について、すべて学外実習を中止し、学内での代替授業により行った。代替授業は、臨床的な知識の整理・確認と紙上症例を用いた課題 (症例) 基盤型チュートリアル (Problem Based Learning-tutorial、PBL-tutorial) 型教育を合わせて行った。特に 4 年生は、卒業前の臨床修練は非常に大切なものであるが、全国的な状況でやむを得ず、このような形になった。